

「〇日目」の取り扱いについて

▶一般的な場合

濃厚接触者の待機期間の取り扱いを例に説明します。

感染症陽性判明者と**最終接触があった日**（12月1日）を**0日目**として翌日から**5日間**（**6日目解除**=12月7日）は、外出の自粛（自宅待機）と健康観察をお願いいたします。



また、**2日目**（12月3日）及び**3日目**（12月4日）に検査を行い、陰性であれば3日目から待機解除が可能です。

▶聖書の場合

マタイによる福音書 20：19 を例に説明します。

異邦人に引き渡す。人の子を侮辱し、鞭打ち、十字架につけるためである。そして、人の子は**三日目** **the third day** に復活する。

聖書では、十字架につけた日（=**当日**）を**第1日目**として**数え**で数え、三日目の日曜日に復活して人々の前に現われた、と解釈します。



1	2	3日目	2日目	3日目	...	39日目	40日目	41日目	42日目	...	49日目	50日目
金	土	日	月	火	...	水	木	金	土	...	土	日
三日目に復活(マタイ 20:19)			復活から四十日にわたって(使徒 1:3)					復活から50日後に集まって祈っていた弟子たちの上に、聖霊が降った(使徒 2:1~4) → 聖霊降臨日(春の収穫感謝祭の「五旬祭(ペンテコステ)」の日)				

【参考】創世記 1:1~5・...1:13

初めに、神は天地を創造された。地は混沌であって、闇が深淵の面にあり、神の霊が水の面を動いていた。神は言われた。「光あれ。」こうして、光があった。神は光を見て、良しとされた。神は光と闇を分け、光を昼と呼び、闇を夜と呼ばれた。夕べがあり、朝があった。第一の日 **the first day** である。・・・夕べがあり、朝があった。第三の日 **the third day** である。

【参考】年数の数え方

- ユダヤ式・・・数え（数え年等）で数える。
- バビロン方式等・・・満（満年齢）で数える。